

研究室訪問(三重大学工学部)

6月5日に三重大工学部、矢野先生の研究室へ生徒が訪問しました。

医療・福祉の現場での人手不足解消のためパワーアシストロボットをはじめとする様々なタイプのロボットの開発が急ピッチで行われており、講義では、これから日本が直面する問題やロボット開発の現状を学びました。実習ではモーションキャプチャシステムを使用して、人や車の運動を解析したり、生体信号を用いたロボット制御を実際に体験させていただきました。



(生徒の感想)

- ・ 感覚を再現するプログラムはどのようにしているのかを疑問に感じた。
- ・ 実験で使う道具を自作していることに驚いた。
- ・ 工学と人々の生活との関係や密接なつながりに気づいた。
- ・ デバイスによって手振れを抑えたり、感覚を再現していることが非常に興味深かった。
- ・ ロボットは数学の塊で、自分は数学が好きなので、将来ロボット開発に関われるかもしれない。